

2年一泊移住 自らが何をなすべきかを考えられる2年生!!

2年生は4月27日(水)～28日(木)の2日間、「規律のある集団行動を行う中でルールを守ることの大切さを学ぶ」「一泊の野外活動を共に体験することで、仲間との関係を深める」「学校では体験できない大自然と接し、自然の大切さを学ぶ」を目的に一泊移住に取り組みました。



出発寸前まで雨模様で、予定がこなせるか心配でした。しかし到着時には天候も回復し、1日目最初のイベントの「室内運動会」では、クラス対抗で背中ボール運びや四人五脚等の種目

を行い、綱引きでは、大いに盛り上がり、出場種目に・応援に一生懸命取り組む姿は、素晴らしいものがありました。続いての「野外炊飯」では、野外炊飯場で「カレーライス」を作りました。てきばきと準備する人、ちゃっちゃと後片付けをする人等々…。学校では、見られない素晴らしい一面を見ることができました。

日も暮れての「キャンプファイヤー」では、学年が一体となれた実感を持つことができました。



2日目は、「展望台ハイキング」です。グループで協力して、晴天にも恵まれグループごとに協力し展望台を目指します。山頂からは、達成感とともに絶景のご褒美も。



今年の一泊移住でも、子どもたちの成長を実感することができました。特に、自らが何をなすべきなのかを考えることのできる2年生です。

集団となれる5つの条件とは!!

令和4年度も1ヶ月が経過しました。学校生活にも慣れ、自分らしさを発揮できるようになりましたか。一方で、緊張感というストレスから疲れが出やすい時期でもあります。連休の中日ですが、部活動や塾での学習、地域でのスポーツ活動や文化活動など、忙しく過ごす人も多いと思いますが、少し心にゆとりを持って、自分の時間、家族の時間を大切にしながら、残りのGWを過ごしてください。

さて、2年生の一泊移住は終わってしまいましたが、今後各学年とも校外学習が実施されます。この1ヶ月、学年として、学級として取り組んできた『集団』としての力が試される時です。

まとまりのある『集団』は、一人ひとりが持つ力以上の成果を発揮することができることも、個人の成長をも促します。

今月は『集団』としての力が試される校外学習が各学年で実施されます。まとまりのある『集団』をつくるためにはどうしたらよいのでしょうか。

まとまりのある『集団』となれる5つの条件を紹介します。

【まとまりのある集団となれる5つの条件】

- ① 目的や目標を、そこに所属する人みんなが共有していること。
- ② 目的と目標を達成するために、お互いが助け合い、協力し、努力していること。
- ③ 集団として機能するために役割の分担が定められていること。
- ④ 集団としての一定のルールがあること。
- ⑤ 仲間意識があること。

まとまりのない『集団』は『群れ』といい、ただの烏合の衆です。集団としての力は発揮されず、一人ひとりの力も削がれ、何の成果もなく、嫌な思いだけが心に残ってしまいます。

みなさん一人ひとりは、考え方、性格、特技、趣味、目標など、それぞれに違いはありますが、みんなで協力し、助け合いながら、まとまりのある『集団』として校外学習に取り組んでください。そして、クラスや学年をよりレベルの高い『集団』へと成長させ、その結果として個人のレベルアップも図ってください。

5月23・24日に、1学期中間テスト !!

中間テストまで3週間をきりました。今年度初めての定期テストの中間テストがあります。

1年生のみなさんにとっては、初めての定期テストとなります。勉強していますか？

今回は、「勉強」という漢字の意味をお話ししたいと思います。実は勉強は、「ハードトレーニング」なんです。

勉強の「勉」の字を辞書で調べると、「力を出して励む」「つとめる」と書いてあります。要は「一生懸命努力」することです。

次に、「強」の字を調べると、「つよい」「つよめる」と書いてあります。

2つ合わせると、「ものすごく努力すること」「ハードトレーニング」になります。

簡単にできないのが勉強です。だから必死に努力しようとしなければならないものなんです。テレビのように見ていたら分かるというのではなく、必死に聞かなければ解らないのが勉強なのです。

日々の授業で、家庭において、勉強していますか？聞いているだけ、見ているだけ、になっていませんか？しっかり勉強しましょう。

